

**上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略
平成 29 年度事業の検証における提言書**

平成31年3月

上牧町まち・ひと・しごと創成総合戦略検証委員会

目次

1 総論

2 基本目標① 教育・子育て環境を整え、プライベートと仕事の両立を支援する

(取組内容 1～33)

3 基本目標② 若者世帯を中心とした転入世帯が住みやすい住環境を作る

(取組内容 34～45)

4 基本目標③ 広域連携・地域連携による地域力の向上を推進する

(取組内容 46～62)

5 基本目標④ 上牧町で働き続けられる環境をつくる

(取組内容 63～66)

6 参考資料

総論

本提言書は上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、「総合戦略」という。）未着手の事業18事業を含めた全66事業の進捗状況や成果を中心にその内容を検証し、総合戦略のさらなる強化を提言するものである。

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会（以下、「委員会」という。）は産官学金労言における実務の最前線において主導的立場にある方々と町勢、町政に熟知した町民及び町議会議員による総勢14名によって構成、委員各位は平成29年10月に委嘱をうけ、2年目の任期を迎えている。

本年度は計画期間の4年目にあたることから、今回の検証では、総合戦略の管理レベルを上げるため、事業の効果や達成度に関する検証だけでなく、進捗が十分でない事業、未着手の事業について、現状と計画期間中の予定を明らかにした。委員会は提言書の取りまとめまでに5回の会議を開催したが、検討に際しては、まず、担当部署から担当事業の現況と自己評価をもとに作成された事業評価シートの内容について説明がなされ、委員はその評価の妥当性についての評価やそれぞれの専門分野にとどまらず、幅広い見地から事業の推進方法についての提案や助言を含む活発な意見が述べられた。

本委員会での議論、検証については関連部署とも積極的に共有し、総合戦略は主管部署だけがその推進に携わるのではなく、関連部署と連携しつつ、最終年度に向けて全力で臨むことを願って本年度の総括の言葉としたい。

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会
委員長 中山 徹

基本目標①

教育・子育て環境を整え、プライベート
と仕事の両立を支援する

基本的方向① 地域による教育・子育て環境の充実

取組内容 1

学校支援事業の研究・協議

事業概要 (PLAN)			
施策			
子どもの学力向上支援			
KPI	目標値 (2020 年度時点)		
指標なし	-		
実施結果 (DO)			
事業費	1,436 千円		
実施内容			
<p>上牧町学校・地域パートナーシップ事業は、町内の小学校 3 校、中学校 2 校及び幼稚園において、学校支援ボランティアが図書支援・学習支援(授業の補助)・環境支援等を行う活動で、各学校のコーディネーターが、ボランティアの配置・調整、学校との連携を図っています。この事業の運営方法等を検討する学校地域パートナーシップ事業運営委員会を設置し、年に 2 回会議を開き、事業計画の策定、安全管理方策、広報活動方策、ボランティア等の地域の協力者の人材確保等の検討、活動プログラムの企画、事業の検証・評価等を行いました。また、子どもの学力向上も含め、地域で子どもを育てる取組についても意見交換を行いました。</p> <p>・委員会メンバー・・・各種団体の長、各学校園長、各 PTA 会長、コーディネーター、事務局職員</p>			
KPI	実績値 (2017 年度)		
指標なし	-		
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果が得られた	A 増加する方向にある	A 必要性が高い	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組(事業)の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
<p>○ 環境ボランティアについて、せっかく有志が集まっているので、草刈り等が雨で中止になっても別日で実施するなどの工夫を行ってほしい。また、学習支援ボランティアについてはパートナーシップ会議では取扱いが小さく、具体的な説明があれば人数が増えることが期待される。ボランティアのかたが中心に活動できればプラスになる。</p> <p>○ 取組が進歩して、コーディネーター無しで実施できるようになったということであれば、今後も進歩が続いた場合、コーディネーターを介さない事業が増えると予算との乖離が進むことになるので、この予算で他に有効な事業はないか検討していただきたい。</p> <p>○ 来年の検証では、“学校支援事業の研究・協議”では全体の見直しに係ること、“学校を中心としたコミュニティ網の形成”ではコーディネーターとの関係を記載すること、“子育てにおける様々なコミュニティ形成プログラムの企画・運営”では、ボランティアに関することは“学校を中心としたコミュニティ網の形成”に移動させて、ここでは具体的なプログラムの内容を記載する等で記載内容を書き分けていただきたい。</p>			

基本的方向① 地域による教育・子育て環境の充実

取組内容 2 ICT を活用した教育支援

事業概要 (PLAN)			
施策			
子どもの学力向上支援			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
勉強が好き・よくわかる子どもの割合		県平均以上	
ICT を活用した授業づくりに関する研修		2 回 (2017 年度終了時点/独自指標)	
実施結果 (DO)			
事業費		14,945 千円	
実施内容			
<p>ICT の急速な発展とグローバル化が進む社会において、子どもから高齢者まで情報活用能力を身につけることが求められており、また、ICT を授業に活用することで、教育の質の向上も期待できる。そのため、授業での ICT 機器の活用を推進することを目的として、教職員の I C T 研修を推進しており、平成 29 年度は、学校の夏期休業中 (8 月) に、全教職員を対象に夏期 ICT 研修会を開催し、教職員の研鑽を図りました。</p>			
KPI		実績値 (2017 年度)	
勉強が好き・よくわかる子どもの割合		【小学 6 年】 国語 57.4 (県 58.5) 算数 63.3 (県 63.9) 【中学 3 年】 国語 49.2 (県 56.7) 数学 57.1 (県 54.6)	
ICT を活用した授業づくりに関する研修		2 回	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果が得られた	A 増加する方向にある	A 必要性が高い	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
<p>○ タブレットを使用する際の問題点としては、財政状況によって自治体間格差が生まれる。上牧町の ICT 機器導入が遅れば子どもの学力にも悪影響が出る。ICT 教育で学力があがると結果が出ているので、できるだけ早く導入していただきたい。</p>			

基本的方向① 地域による教育・子育て環境の充実

取組内容 3

学習支援教室の開催

事業概要 (PLAN)			
施策			
子どもの学力向上支援			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
勉強が好き・よくわかる子どもの割合		県平均以上	
親が「まきっ子塾」に子どもが参加してとても良かったまたは、良かったと答えた割合		85% (2017 年度終了時点/独自指標)	
実施結果 (DO)			
事業費		4,214 千円	
実施内容			
<p>学校支援向上事業「まきっ子塾」・・・学習習慣や生活習慣を身につけるとも大切な時期でもある小学校 1 年生から 3 年生を対象に、児童の基礎学力の向上や家庭学習の定着を目的に、水曜日の放課後 1 時間程度、在籍学校の空き教室等を利用して、学習アドバイザーが宿題や自習活動の支援を行いました。</p>			
KPI		実績値 (2017 年度)	
勉強が好き・よくわかる子どもの割合		【小学 6 年】 国語 57.4 (県 58.5) 算数 63.3 (県 63.9) 【中学 3 年】 国語 49.2 (県 56.7) 数学 57.1 (県 54.6)	
親が「まきっ子塾」に子どもが参加してとても良かったまたは、良かったと答えた割合		94%	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果が得られた	A 増加する方向にある	A 必要性が高い	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
<ul style="list-style-type: none"> ○ ユニークな取組なので進めてほしい。 ○ 学校の先生との連携を積極的に図り、先生の評価も把握していただきたい。 			

基本的方向① 地域による教育・子育て環境の充実

取組内容 4

様々な専門講座の開催

事業概要 (PLAN)			
施策			
子どもの学力向上支援			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
専門講座の年間開催		4 回	
実施結果 (DO)			
事業費		45 千円	
実施内容			
<p>青少年の健全な育成を目的に、子ども体験学習事業として、青少年に様々な活動や体験学習を実施しました。</p> <p>【実施内容】</p> <p>第 1 回 光のふしぎを体験しよう (小学 1・2 年生・未就学児)</p> <p>第 2 回 化学反応で遊ぼう (小学 3・4 年生)</p> <p>第 3 回 磁石のふしぎを体験しよう (小学 5・6 年生)</p>			
KPI		実績値 (2017 年度)	
専門講座の年間開催		3 回	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果が得られた	B 現状と変わらない	A 必要性が高い	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
<p>○ 今後も引き続き、子ども体験学習事業を通して、青少年に様々な活動や学習の機会を提供していただきたい。</p>			

基本的方向① 地域による教育・子育て環境の充実

取組内容 5

スポーツ教室や野外活動教室の開催

事業概要 (PLAN)			
施策			
子どもの学力向上支援			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
野外活動教室の開催回数		3 回	
ジュニアリーダー研修生数 (上級) 高校生以上		5 名 (2017 年度終了時点/独自指標)	
ジュニアリーダー研修生数 (初級) 5・6 年・中学生		30 名 (2017 年度終了時点/独自指標)	
実施結果 (DO)			
事業費		550 千円	
実施内容			
<p>青少年の健全な育成を目的に、毎年、「ジュニアリーダー研修」を実施しています。元々は、地域の子ども会で高学年の児童にグループを指導する力を身につけてほしいというリーダー養成を目的に、約 30 年前に、対象は小学 5 年生以上で始めました。</p> <p>事業内容は、夏に宿泊研修を国立曽爾青少年自然の家で実施し、キャンプファイヤーや野外炊飯等の活動を行いました。その他の研修では体験学習・ハイキングやネイチャーゲームを行いました。</p> <p>また、平成 29 年度から「子どもウォーキング」を実施しています。上牧町スポーツ推進委員と協力し、自然にふれあいながらウォーキングを行っています。平成 29 年度は、平成榛原子どもの森で実施しました。</p>			
KPI		実績値 (2017 年度)	
野外活動教室の開催回数		3 回	
ジュニアリーダー研修生数 (上級) 高校生以上		7 名	
ジュニアリーダー研修生数 (初級) 5・6 年・中学生		35 名	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果が得られた	B 現状と変わらない	A 必要性が高い	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
<p>○ 自治会では子どもの減少とともに子供会も減少し、子どもが集う場面が減っている。町の活性化にもつながるので積極的に広報にも取り組んでいただきたい。</p>			

基本的方向① 地域による教育・子育て環境の充実

取組内容 6

学校を中心としたコミュニティ網の形成

事業概要 (PLAN)			
施策			
子どもたちを上牧町みんなで育てようプロジェクト			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
学校支援ボランティア数		200 人	
コーディネーター会議		3 回 (2017 年度終了時点/独自指標)	
実施結果 (DO)			
事業費		-	
実施内容			
<p>上牧町学校・地域パートナーシップ事業は、町内の小学校 3 校、中学校 2 校及び幼稚園において、学校支援ボランティアが図書支援・学習支援(授業の補助)・環境支援等を週に数回行うものです。小学校では、登下校の安全確保のための見守り安全指導も行いました。ボランティアの方々に、特技や趣味等を生かして学校の教育活動に協力していただけるように、各学校のコーディネーターが、ボランティアの配置・調整、学校との連携を図りました。またコーディネーター間でも各校の課題等を相談しあい、問題解決を図りました。</p> <p>事業費については、「取組内容①学校支援事業の研究・協議」に含まれています。</p>			
KPI		実績値 (2017 年度)	
学校支援ボランティア数		224 人	
コーディネーター会議		3 回	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果が得られた	A 増加する方向にある	A 必要性が高い	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組(事業)の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
<p>1. 学校支援事業の研究・協議 との一括審議のため、記載省略。</p>			

基本的方向① 地域による教育・子育て環境の充実

取組内容 7

子育てにおける様々なコミュニティ形成プログラムの企画・運営

事業概要 (PLAN)			
施策			
子どもたちを上牧町みんなで育てようプロジェクト			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
学校支援ボランティア数		200 人	
実施結果 (DO)			
事業費		-	
実施内容			
<p>上牧町学校・地域パートナーシップ事業は、町内の小学校 3 校、中学校 2 校及び幼稚園において、学校支援ボランティアが図書支援・学習支援・環境支援等を週に数回行うものです。小学校では、登下校の安全確保のための見守り安全指導も行いました。ボランティアの方々に、特技や趣味等を生かして学校の教育活動に協力していただくことにより、地域の教育力の向上と地域ぐるみで学校教育の充実と活性化を図ることを目的としています。</p> <p>事業費については、「取組内容①学校支援事業の研究・協議」に含まれています。</p>			
KPI		実績値 (2017 年度)	
学校支援ボランティア数		224 人	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果が得られた	A 増加する方向にある	A 必要性が高い	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
<p>1. 学校支援事業の研究・協議 との一括審議のため、記載省略。</p>			

基本的方向① 地域による教育・子育て環境の充実

取組内容 8

すべての学習活動を道徳教育や人権教育を意識し推進

事業概要 (PLAN)			
施策			
子どもたちを上牧町みんなで育てようプロジェクト			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
指標なし		-	
実施結果 (DO)			
事業費		1,209 千円	
実施内容			
<p>行政・各校園・各種団体等が連携し、講師の方を招いて講演を聞く「ヒューマンライツセミナー」と「指導者研修会」を町独自の研修として年に1回ずつ開催しました。県や郡の人権教育推進協議会が開催する人権教育の機会をもとらえて積極的に参加し、教育活動を進めており、学校での学習指導においても、道徳教育や人権教育を意識した指導を行いました。町民一人ひとりが理解を深め、地域全体で人権を守る意識を高めるためには、今後も継続的に取り組んでいきます。</p> <p>●ヒューマンライツセミナー 講演 「こけ枝のほのぼの人権晰」+「鹿政談」 講師 桂 こけ枝さん (落語家)</p> <p>●指導者研修会 天理市石上神宮ほか人権スポットのフィールドワーク+天理参考館見学 講師 井岡 康時さん(天理大学非常勤講師)</p>			
KPI		実績値 (2017 年度)	
指標なし		-	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果が得られた	A 増加する方向にある	A 必要性が高い	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
<p>○ 落語家の公演を交えての研修ということで、人権教育の面と文化教育の面と二面性を持っている。落語を聞く機会は限られているのでできるだけ多くのかたが参加できる形態をとっていただきたい。</p>			

基本的方向① 地域による教育・子育て環境の充実

取組内容 9 子どもの読書活動の推進

事業概要 (PLAN)			
施策			
子どもたちを上牧町みんなで育てようプロジェクト			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
指標なし		-	
実施結果 (DO)			
事業費		-	
実施内容			
<p>生活環境の変化、さらには、幼児期からの読書習慣の未形成などにより、子どもの「読書離れ」を指摘されている中で、読書活動を通じて、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけさせていくため、以下のとおり実施しました。</p> <p><小中学校での活動> ・ 朝授業の前に 10 分間読書をする。・ 児童生徒が読みたい本を自宅から、また図書室から選んで持ってくる。</p> <p>・ 小学校では、多目的室で図書ボランティアが多種類の沢山の本を選び、児童が手に取りやすいように並べて「絵本の広場」と称して、児童が好きなように読んだり、触れたりする期間を設ける。また、図書ボランティアの方に「お話し会」をしていただき、本を読んでもらう。</p> <p>・ 図書館司書が図書室の使い方・調べものなどについての話をする。</p>			
KPI		実績値 (2017 年度)	
指標なし		-	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果が得られた	B 現状と変わらない	B 必要性がある程度認められる	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
<p>○ 家庭教育で本を読み聞かせることが大事である。学校で十分ではなく、親への教育も呼び掛ければ子どもは本への興味が出る。</p> <p>○ 幼いうちは国語力が非常に大切である。国語ができれば、何が書いてあるかわかるから他教科の学力も上がる。ご家庭、幼稚園、保育所でもサポートできるような取組があると良い。</p>			

基本的方向① 地域による教育・子育て環境の充実

取組内容 10

情報交換拠点の整備

事業概要 (PLAN)			
施策			
地域ぐるみの子育て支援			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
つどいの広場・おひさま広場のサロン総利用者数		8,000 人	
実施結果 (DO)			
事業費		4,540 千円	
実施内容			
<p>乳児又は幼児及びその保護者が相互に交流を行う場所を提供し、子育てについての相談・情報の提供、助言その他の援助を行うことにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを推進することを目的とするものです。</p> <p>2000 年会館やアピタ内ささゆりルームにて以下のとおり実施しました。</p> <p>【子育て親子の交流の場の提供と交流の促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て中の孤立の軽減や社会参加のきっかけ作りとしての『おひさま広場』 ・ 親子のくつろぎの空間と時間を提供する『サロンほけっと』 ・ より多くの親子が集える『サロンほけっと』での誕生日会などの企画開催 ・ おひさま広場での親子遊びの実施 <p>【子育て及び子育て支援に関する講習等の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 『おひさま広場』、『サロンほけっと』での子育て講演や講習会の実施 			
KPI		実績値 (2017 年度)	
つどいの広場・おひさま広場のサロン総利用者数		4,386 人	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果が得られた	A 増加する方向にある	A 必要性が高い	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
<p>○ 参加者を増やすため、開催回数は増加させることについて、ニーズ調査の中で検討してほしい。</p> <p>○ 未就学児を対象としている事業で、子どもの保育所の入所が増えた結果、参加者が去年から 10 数%下がっている。他の取組事業と対象者に重なりがあり、住み分けをしなければこのまま保育所の入所数が増加すれば、この取組の参加者は減少するということになる。重なりの原因が解消されなければ KPI の増加は難しい。</p> <p>○ 10 月からは幼児教育の無償化も始まるので、類似の事業も含めてアンケート結果から検討するだけでなく全体的な検討が必要である。</p>			

基本的方向① 地域による教育・子育て環境の充実

取組内容 11

地域における保育環境の改善事業

事業概要 (PLAN)			
施策			
地域ぐるみの子育て支援			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
公立幼稚園の園児数		180 人	
実施結果 (DO)			
事業費		622 千円	
実施内容			
<p>保護者の方の子育てや就労を支援することを目的として、町立幼稚園での教育時間終了後も引き続き、園児を預かる「預かり保育」を実施し、上牧町の子育て支援の基幹とすることで、若い子育て世代の移住増加を目指すものです。「預かり保育」の時間はほぼ毎日で 14 時 30 分から 16 時まで実施しました。</p>			
KPI		実績値 (2017 年度)	
公立幼稚園の園児数		166 人	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果が得られた	A 増加する方向にある	A 必要性が高い	A 見直す余地がありすぐに実施
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	見直しして継続	現状のまま継続	拡大
委員の意見			
<p>○ 消費税が上がるタイミングで幼児教育無償化となる。幼稚園では一般的には 1 号認定だが、今後は 2 号認定の子どもを幼稚園に預けて預かり保育を受けるニーズが考えられるため、2 号認定のかたが希望された時の対応を検討していただきたい。</p>			

基本的方向① 地域による教育・子育て環境の充実

取組内容 12

乳幼児こども防災意識向上事業の実施

事業概要 (PLAN)			
施策			
地域ぐるみの子育て支援			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
乳幼児こども用災害備蓄物資の充足率		100%	
実施結果 (DO)			
事業費		-	
実施内容			
<p>有事に備え、乳幼児こども用災害備蓄物資の確保に取り組むものです。(平成 27 年度に国の交付金を受けて、新生児・乳幼児用紙オムツ、粉ミルク、哺乳びん等を購入)</p> <p>平成 29 年度においては、実施しませんでした。</p> <p>今後は乳幼児こどもとその保護者の防災意識が向上するための具体的な検討及び指標を設定していきます。</p>			
KPI		実績値 (2017 年度)	
乳幼児こども用災害備蓄物資の充足率		75%	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
-	-	-	-
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
平成 30 年度実施予定	-	-	-
委員の意見			
<p>○ 平成 27 年度に購入した粉ミルクや紙おむつ等は現在も使用できるか確認すること。特に子供が口にするものについては賞味期限消費期限を確認すること。</p>			

基本的方向① 地域による教育・子育て環境の充実

取組内容 13

英語教育の充実

事業概要 (PLAN)			
施策			
就学前教育の充実			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
英会話教室及び体育教室の開催数		60 回	
実施結果 (DO)			
事業費		1,814 千円	
実施内容			
<p>グローバル化に少しでも幼いうちから慣れ親しめるように、英語を母国語とし、ある程度日本語の会話が可能な日本滞在の外国人講師を定期的に招き、一緒に英語の歌を歌ったり、ダンスをする。そのほかにも英語による簡単な指示 (jump とか turn など) に合わせて体を動かしたりするなど「英語を使って楽しむ」というこつに重点を置き、簡単な挨拶や自己紹介を英語でやってみるなど、日常的な英会話に触れることを目的に英語教育を実施しました。</p>			
KPI		実績値 (2017 年度)	
英会話教室及び体育教室の開催数		46 回 (うち英会話教室は 35 回)	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果が得られた	A 増加する方向にある	A 必要性が高い	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
<p>○ 幼児教育、幼児期の体験において、ネイティブによる英語教育は有効と考えるので、回数も増やしながら継続させていただきたい。</p>			

基本的方向① 地域による教育・子育て環境の充実

取組内容 14 体育教育の充実

事業概要 (PLAN)			
施策			
就学前教育の充実			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
英会話教室及び体育教室の開催数		60 回	
実施結果 (DO)			
事業費		165 千円	
実施内容			
<p>「走る」「飛ぶ」「投げる」といった、基本的な運動能力を向上させるために専門家に指導してもらいました。専門家の指導のもと、マット運動をするにしても、年少クラスは犬やウサギ、ヘビなどの動物模倣、年中・年長クラスでは横転やサイドステップ・スキップなど、子どもの成長段階に応じた指導を行いました。また、肥満や骨折防止及び基礎体力の向上をめざすものでもあります。</p>			
KPI		実績値 (2017 年度)	
英会話教室及び体育教室の開催数		46 回 (うち体育教室は 11 回)	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果が得られた	A 増加する方向にある	A 必要性が高い	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
<p>○ 英語教育の充実と合わせて KPI を達成するには実施回数を増やす必要があるが、合算だとわかりにくく数字を意識しにくいので、次期総合戦略では分けて設定していただきたい。</p>			

取組内容 15

婚活イベントの企画・実施

事業概要 (PLAN)			
施策			
結婚・出産・子育ての希望を叶えるための支援			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
婚活イベント事業・縁結び事業による成婚数		8 組	
実施結果 (DO)			
事業費		1,821 千円	
実施内容			
<p>婚活イベントの開催。マリッジサポーターの育成。新規サポーターの募集及び育成。</p> <p>出会い・結婚応援事業のうち、婚活イベント事業として、年間 3 回の婚活イベントを実施しました。平成 29 年 11 月 19 日信貴山のどか村 BBQ イベントでは男性 20 名、女性 19 名が参加されました。(14 名連絡先交換) 平成 29 年 12 月 10 日「まほろば珈琲」において、クリスマスパーティを行い、男女各 20 名が参加されました。(6 組カップル成立) その後サポーターによる、相談支援を継続します。平成 30 年 3 月 25 日マリッジサポータープロデュースによる婚活イベントを開催し男女各 20 名が参加されました。(2 組カップル成立) かんまき未来創造マリッジサポーター育成事業として、サポーターの募集及び周知啓発。サポーター育成事業として、個人情報取り扱い等のサポーターとしての知識及びイベント体験の実施。サポーターフォローアップ研修等としてサポーターとしての能力アップ講座を実施しました。</p>			
KPI		実績値 (2017 年度)	
婚活イベント事業・縁結び事業による成婚数		0 組	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果が得られた	A 増加する方向にある	A 必要性が高い	A 見直す余地がありすぐに実施
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	見直しして継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
<p>○ 結婚を前提としたイベントではなくて、若者は町外から働きに来る人もいるので、商工会や事業者を中心にそこで働く人を対象に若者が集えるイベントの実施や事業に対する補助金制度について検討した方が有効ではないかと考える。</p> <p>○ 各種団体企業の意見を聞く機会を設けた方がいい。それによって新たな効果が出て、専門の業者が作ったのではない上牧町の独自の形になる。</p> <p>○ 上牧町で行う場合は、参加者が町外の人が多い、結婚しても上牧町に住むかわからないという状況であれば適切ではない。上牧町の少子化対策に対して税金を使うということにこだわって、事業見直しの方向性で議論していただきたい。</p>			

取組内容 16

結婚希望者相談窓口の設置

事業概要 (PLAN)			
施策			
結婚・出産・子育ての希望を叶えるための支援			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
指標なし		-	
実施結果 (DO)			
事業費		2,363 千円	
実施内容			
<p>地域における結婚相談やアドバイスを行うマリッジサポーター及び協力 N P O 団体による、結婚を考える男女または、その保護者を対象とした相談窓口を開催し、結婚の妨げとなる不安等の解消に努めて婚姻へと導くことを目的として、町主催のペガサスフェスタにおいてサポーターによる結婚相談窓口を開催しました。</p>			
KPI		実績値 (2017 年度)	
指標なし		-	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果が得られた	A 増加する方向にある	B 必要性がある程度認められる	A 見直す余地がありすぐに実施
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	見直しして継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
<p>15. 婚活イベントの企画・実施 との一括審議のため、記載省略。</p>			

取組内容 17 ワンストップ相談窓口の設置

事業概要 (PLAN)			
施策			
結婚・出産・子育ての希望を叶えるための支援			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
ワンストップ相談窓口年間相談数		200 件	
実施結果 (DO)			
事業費		-	
実施内容			
平成 29 年度の実施はありませんでした。			
KPI		実績値 (2017 年度)	
ワンストップ相談窓口年間相談数		-	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
-	-	-	-
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
平成 30 年度実施予定	-	-	-
委員の意見			
未実施のため、現状確認のみ。(意見なし)			

取組内容 18 マタニティ教室の開催

事業概要 (PLAN)			
施策			
結婚・出産・子育ての希望を叶えるための支援			
KPI		目標値 (2017 年度)	
マタニティ教室参加者の内、夫またはパートナーの参加者延べ人数		5 人 (独自指標)	
マタニティ教室参加者延べ人数 (H27 年度 28 人)		30 人 (独自指標)	
実施結果 (DO)			
事業費		28 千円	
実施内容			
マタニティ教室の開催 ・ 妊婦 妊娠中の食事、沐浴体験 ・ 助産師による安産のコツ ・ パパやパートナーの参加の呼びかけ 2クール×年 4 回 (午後 1 時 30 分から 3 時)			
KPI		実績値 (2017 年度)	
マタニティ教室参加者の内、夫またはパートナーの参加者延べ人数		6 人	
マタニティ教室参加者延べ人数 (H27 年度 28 人)		35 人	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果が得られた	A 増加する方向にある	A 必要性が高い	A 見直す余地がありすぐに実施
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	見直しして継続	現状のまま継続	拡大
委員の意見			
○ 今後も引き続き、工夫を凝らしながら取り組みを継続していただきたい。			

取組内容 19 乳児・幼児検診の実施

事業概要 (PLAN)			
施策			
結婚・出産・子育ての希望を叶えるための支援			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
乳児健診受診率【3 か月児・10 か月児】		100%	
幼児健診受診率【1 歳 8 か月児・3 歳児】		98.1%	
実施結果 (DO)			
事業費		1,571 千円	
実施内容			
乳児・幼児健診の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・3 か月児健康診査 集団指導 (予防接種の勧奨、ふれあい遊び、歯のお話) 問診、身体計測、診察、育児、栄養相談 ・10 か月児健康診査 問診、身体計測、診察、歯科指導、育児、栄養相談 ・1 歳 8 か月児健康診査 集団指導 (言葉の発達、予防接種の勧奨、歯磨きのポイント)、問診、身体計測、診察、歯科診察、歯科相談、発達相談、育児、栄養相談 ・2 歳児歯科検診 集団指導 (予防接種の勧奨、歯科医師からのお話)、問診、ブラッシング指導、歯科診察、フッ素塗布 ・3 歳児健康診査 集団指導 (予防接種の勧奨、食事、歯のお話) 問診、身体計測、診察、歯科診察 未受診者には、次回の受診案内、経過観察が必要なかたには後日に連絡を実施) 			
KPI		実績値 (2017 年度)	
乳児健診受診率 【3 か月児・10 か月児】		95.3%	
幼児健診受診率【1 歳 8 か月児・3 歳児】		91.8%	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果が得られた	B 現状と変わらない	A 必要性が高い	A 見直す余地がありすぐに実施
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	見直しして継続	拡大	現状のまま継続
委員の意見			
○ 子どもの命にかかわる重要な事業であるので、KPI の 100%受診率を達成するために、様々な手段を用いて取組をすすめていただきたい。			

取組内容 20

新米ママへの訪問カウンセリングの拡充

事業概要 (PLAN)			
施策			
結婚・出産・子育ての希望を叶えるための支援			
KPI		目標値 (2017 年度終了時点)	
訪問実施率(H28 98.0%)		99% (独自指標)	
実施結果 (DO)			
事業費		7 千円	
実施内容			
<p>新米ママへの訪問、カウンセリングの拡充</p> <p>新生児等の育児について、発育、栄養、衣服、生活環境、疾病予防に関すること（保護者に対する問診、新生児の観察等を行い異常又は疾病の発見並びに早期治療を受けることの指導、助言含む）等全般に指導、助言を行いました。</p> <p>また、家族全員の健康管理について、指導、助言を行いました。</p>			
KPI		実績値 (2017 年度)	
訪問実施率(H28 98.0%)		99.1%	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果が得られた	A 増加する方向にある	A 必要性が高い	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
<p>○ 新米ママへの訪問カウンセリングについては、成果も出ているので今後も続けていただきたい。</p> <p>○ 子育て包括支援センターの設置については、人員の配置や予算の調整等いろいろ大変だと思うが努力していただきたい。</p>			

取組内容 21 不妊治療助成制度の創設

事業概要 (PLAN)			
施策			
不妊・不育症治療支援			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
不妊治療助成件数		15 件	
実施結果 (DO)			
事業費		510 千円	
実施内容			
<p>不妊治療助成制度</p> <p>一般不妊治療を受けている夫婦に対して不妊治療に要する費用の一部を助成し、不妊で悩む夫婦の経済的及び精神的負担の軽減を図り、少子化対策の推進に寄与することを目的とします。</p> <p>年間保健事業予定表、ホームページ、広報に掲載し周知しました。</p>			
KPI		実績値 (2017 年度)	
不妊治療助成件数		8 件	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
A 目標より大きな成果が得られた	A 増加する方向にある	A 必要性が高い	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
<p>○ 不妊治療の際の経済的な負担軽減が目的の 1 つとあるので、予算の都合がつけば、補助金増額も検討していただきたい。</p> <p>○ 取組の方向性や事業量、労働量が現状のまま継続と設定されているが、拡大して取り組んでいただきたい。</p> <p>○ 取組の周知・啓発に努めていただきたい。</p>			

取組内容 22

不育症治療助成制度の創設

事業概要 (PLAN)			
施策			
不妊・不育症治療支援			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
不育症治療助成件数		9 件	
実施結果 (DO)			
事業費		211 千円	
実施内容			
不育症治療助成制度 一般不育治療を受けている夫婦に対して不育治療に要する費用の一部を助成し、不育で悩む夫婦の経済的及び精神的負担の軽減を図り、少子化対策の推進に寄与することを目的とします。年間保健事業、ホームページ、広報に掲載し周知しました。			
KPI		実績値 (2017 年度)	
不妊治療助成件数		8 件	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果が得られた	A 増加する方向にある	A 必要性が高い	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
○ 公民館等も用いて、若い方に知ってもらう施策を展開して、相談が恥ずかしいことなく、気楽に相談できる状況を整えることも大事である。 ○ 近隣で不妊や不育症治療を主として取り扱っている産婦人科はないと思うので、他の広報活動についても検討していただきたい。			

取組内容 23

通勤時間のかかる世帯の延長保育料金の支援

事業概要 (PLAN)			
施策			
安心して共働きできる環境の整備			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
出生数		97 人	
実施結果 (DO)			
事業費		3,995 千円	
実施内容			
<p>就労形態の多様化に伴い、やむを得ない理由により保育時間を延長して児童を預けられる環境が必要とされているため、公立保育所・民間保育園の経営の健全化及び保育内容の充実を図り、市町村の支給認定を受けた児童について、通常の保育利用日及び保育利用時間以外において保育所等で引き続き保育を実施する事業です。また、延長保育を実施するにあたり私立の保育所に補助金を交付し、延長保育料に対して一律の支援を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 標準時間保育・・・11 時間の保育時間を超えて保育を実施 ・ 短時間保育・・・8 時間の保育時間を超えて保育を実施 			
KPI		実績値 (2017 年度)	
出生数		105 人	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果が得られた	A 増加する方向にある	A 必要性が高い	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
○ 取組予定のとおり事業を推進していただきたい。			

取組内容 24

病児・病後児保育機能の強化と保護者負担の軽減

事業概要 (PLAN)			
施策			
安心して共働きできる環境の整備			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
病児・病後児保育施設利用者数		50 人	
実施結果 (DO)			
事業費		77 千円	
実施内容			
<p>病児・病後児保育事業として、大和高田市と協定を結び、土庫こども診療所病児保育園で集団保育を受けることのできない病気や病気回復期の子どもを、医師が病児保育での対応が可能だと判断した場合、看護師、保育士と連携してお預かりする保育事業を実施するものです。（総事業費の 1 / 3 を大和高田市及び協定を結んでいる市町の利用人数で按分）</p>			
KPI		実績値 (2017 年度)	
病児・病後児保育施設利用者数		6 人	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果が得られた	A 増加する方向にある	A 必要性が高い	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
<p>○ 登録者数について、保護者負担の軽減に対する施策だと思うが、他市町村と比べ登録者数が少ないのではないかと考える。保育をしているかたの方が一に備えて、全員登録でもいいのではないかと考える。登録者数を増やす施策を検討していただきたい。</p>			

取組内容 25

子育て支援セミナーの開催

事業概要 (PLAN)			
施策			
安心して共働きできる環境の整備			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
指標なし		-	
実施結果 (DO)			
事業費		-	
実施内容			
平成 29 年度の実施はありませんでした。			
KPI		実績値 (2017 年度)	
指標なし		-	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
-	-	-	-
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
代替事業の実施を検討	-	-	-
委員の意見			
未実施のため、現在、検討中の代替事業の内容確認のみ。(意見なし)			

取組内容 26

パパ教室の開催

事業概要 (PLAN)			
施策			
安心して共働きできる環境の整備			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
指標なし		-	
実施結果 (DO)			
事業費		-	
実施内容			
担当課での実施はありませんでしたが、他課主催の妊婦向け教室において、夫が参加できる内容の取り組みが実施されました。			
KPI		実績値 (2017 年度)	
指標なし		-	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
-	-	-	-
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
代替事業の実施を検討	-	-	-
委員の意見			
未実施のため、現在、検討中の代替事業の内容確認のみ。(意見なし)			

取組内容 27

乳幼児教育の充実

事業概要 (PLAN)			
施策			
安心して共働きできる環境の整備			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
指標なし		-	
実施結果 (DO)			
事業費		294 千円	
実施内容			
<p>乳幼児教育への取組みについて、0歳から就学前の時期を乳幼児といい、その成長は著しく、人格形成の基礎を作る重要な時期とされています。乳幼児期の教育で重視されている「健康」「表現」「環境」「言葉」「人間関係」の5領域をバランスよく行うものです。また、英語知育教育による言葉、和太鼓による音感、表現、健康教育または、食育等から学ぶ環境、集団生活の中での人間関係等さまざまな視点から乳幼児教育を行いました。上牧町立第1保育所にて実施しました。</p>			
KPI		実績値 (2017 年度)	
指標なし		-	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果が得られた	A 増加する方向にある	A 必要性が高い	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
<p>○ アンケート調査の実施にあたっては、手話に関する項目など、障がい者目線の内容も盛り込んでいただきたい。</p> <p>○ 同じ町内なのに、幼稚園では3～5歳で英語教育を受けられて、保育所だと5歳でだけしか受けられない状況になっている。現場の判断や予算の問題もあり、すべてを実施するわけにはいかないと思うが、保育所、幼稚園、公立、私立の区別なく上牧町で教育が受けられる体制を確立していただきたい。</p>			

取組内容 28

ファミリー・サポートセンターの実施

事業概要 (PLAN)			
施策			
安心して共働きできる環境の整備			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
ファミリー・サポートセンター利用者数		20 人	
実施結果 (DO)			
事業費		-	
実施内容			
平成 29 年度の実施はありませんでした。			
KPI		実績値 (2017 年度)	
ファミリー・サポートセンター利用者数		-	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
-	-	-	-
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
実施の目途がたっていない	-	-	-
委員の意見			
未実施のため、代替事業の検討状況や社会福祉協議会との協議の確認。効率よく事業を実施していただきたいとの意見あり。			

取組内容 29

放課後児童クラブの充実

事業概要 (PLAN)			
施策			
安心して共働きできる環境の整備			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
放課後児童クラブ受入人数		150 人	
実施結果 (DO)			
事業費		22,894 千円	
実施内容			
保護者が共働き家庭等により、放課後や長期休業日（夏休みなど）に保護者の家庭保育が受けられない児童に適切な遊びや生活の場を提供し健全育成を図りました。			
KPI		実績値 (2017 年度)	
放課後児童クラブ受入人数		135 人	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果が得られた	A 増加する方向にある	A 必要性が高い	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
<p>○ 子どもが保育所から小学校に入ったからといって保護者の勤務時間が変わるわけではないので、学童保育が 18:00 まででは迎えが難しいこともある。将来的にはせめて保育所並みの保育時間があれば、迎えの時間に間に合わないということも減る。政府は基準を緩くして、指導員不足を緩和することで人数を確保するように進めているが、適切な保育状況を作って欲しい。予算も考慮しながら検討していただきたい。</p>			

取組内容 30

子育てママ就業支援事業

事業概要 (PLAN)			
施策			
安心して共働きできる環境の整備			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
出生数		97 人	
テレワーク事業拠点雇用者数		30 人 (2017 年度 / 独自指標)	
実施結果 (DO)			
事業費		30,082 千円	
実施内容			
<p>平成 29 年度より、「上牧町子育てママ就業支援事業」として、育児の都合に合わせた柔軟な働き方を実現できるテレワークを導入するにあたり、子育て期間中の母親「子育てママ」の継続的な収入確保、社会復帰に向けたブランクの解消やスキルの習得、また同じ悩みを抱える母親が集う新たな地域コミュニティの創出を図るため、民間事業者と連携し、アピタ西大和店 1F (上牧町ささゆりルーム) において、託児スペースとワーキングスペースを併設した就業支援スペースを設置し、子どものそばで安心して働きたい子育て世帯の希望を実現できる環境を整備し、12 月より運営を開始しました。</p>			
KPI		実績値 (2017 年度)	
出生数		105 人	
テレワーク事業拠点雇用者数		15 人	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果が得られた	A 増加する方向にある	B 必要性がある程度認められる	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
<p>○ 子育て期間中の母親の支援を継続するために、人材育成に取り組み、事業展開のなかで民間企業のニーズも同時に満たしていける仕組みを構築していただきたい。</p>			

取組内容 31

通級指導教室の充実

事業概要 (PLAN)			
施策			
特別支援教育の充実			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
通級指導教員数		2 人	
実施結果 (DO)			
事業費		1,798 千円	
実施内容			
<p>学校において、特別な支援を必要とする児童生徒が増加傾向にあり、また、障がいの種類や程度によっては、特別支援学級に入級しなくても、通級指導で個々の教育ニーズに合った教育を受けることで、成果を上げてきています。また、今まで通級指導を受ける児童生徒は、全てペガサス教室に通ってもらっていましたが、平成 29 年 9 月からは各学校へ指導員がおもむき、特別支援学級や特別支援教諭とともに指導に当たる事業も開始しました（訪問通級指導）。</p>			
KPI		実績値 (2017 年度)	
通級指導教員数		2 人	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果が得られた	A 増加する方向にある	A 必要性が高い	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
<p>○ 通級指導教室、訪問通級指導ともに、現状のまま取り組んでいただきたい。</p>			

基本的方向③ ふるさと教育の充実

取組内容 32

県や地域と連携した学習体験・交流活動の実施

事業概要 (PLAN)			
施策			
ふるさと教育の充実			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
県内企業や地域との交流活動回数		3 回	
実施結果 (DO)			
事業費		-	
実施内容			
<p>キャリア教育の一環として生徒の職業観を育み、また、本事業実施後に予定されている職場体験学習への意欲的な参加に繋げていくための取組です。上牧中学校・上牧第二中学校の二年生を対象として、各業界で活躍している職業人をゲストティーチャーとして招聘し、自身の職業に関する講話をいただいたり、生徒の前で実演していただきました。</p> <p>【平成 29 年度ゲストティーチャー】 フラワーショップ店長、私立幼稚園長、和食職人、ツアーコンダクター、CA、洋菓子職人、助産師、板金職人、美容師 等</p>			
KPI		実績値 (2017 年度)	
県内企業や地域との交流活動回数		2 回	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果が得られた	A 増加する方向にある	A 必要性が高い	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
<p>○ 計画通りに実施されており、課題点を見出しながら、さらに充実・発展していかうとされている。現状のまま取り組んでいただきたい。</p>			

基本的方向③ ふるさと教育の充実

取組内容 33

県内優良企業や町内企業における職場体験学習

事業概要 (PLAN)			
施策			
ふるさと教育の充実			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
県内企業や地域との交流活動回数		3 回	
実施結果 (DO)			
事業費		-	
実施内容			
<p>中学校でのキャリア教育における中核事業として、本事業を位置付けている。町内外の事業所に協力いただき（上牧中学校は 47 事業所、上牧第二中学校は 25 事業所）、第二学期に中学 2 年生が 2～3 日間の職場体験学習を実施。事前打合わせは生徒自らが各受け入れ先事業所に連絡を取ったうえで出向きました。また、事前学習として、「マナー講習会」を受講したり、「仕事のプロに学ぶ」講演会を実施したりして、礼儀やマナーとともに働くことの意義を考え、当日の体験を成功させるための学習活動を展開しました。受け入れ先事業所の内訳として、飲食店・生花店・スポーツ用品店・理美容室・ペットショップ・自動車販売店・楽器店・ゴルフ練習場・複合商業施設・電器店等の接客業、運送店・JR 駅舎・交通社等の運送業、食品製造・加工業の工場、幼稚園・保育所・郵便局・図書館・社会福祉法人事業所等となります。</p>			
KPI		実績値 (2017 年度)	
県内企業や地域との交流活動回数		2 回	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果が得られた	A 増加する方向にある	A 必要性が高い	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
<p>32. 県や地域と連携した学習体験・交流活動の実施 との一括審議のため、記載省略。</p>			

基本目標②

若者世帯を中心とした転入世帯が

住みやすい住環境を整備する

基本的方向① 既存ストックを活用した住環境の整備

取組内容 34

空き家バンク登録物件の説明会の開催

事業概要 (PLAN)			
施策			
空き家活用プロジェクト			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
仲介による空き家賃貸利用数		6 件	
実施結果 (DO)			
事業費		-	
実施内容			
平成 29 年度の実施はありませんでした。			
KPI		実績値 (2017 年度)	
仲介による空き家賃貸利用数		-	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
-	-	-	-
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
平成 31 年度実施予定	-	-	-
委員の意見			
○ 空き家の利活用については、ニーズがあるので急いで協議を進め、「空き家バンク」を整備していただきたい。			

基本的方向① 既存ストックを活用した住環境の整備

取組内容 35

登録物件の測量及び活用事例の紹介

事業概要 (PLAN)			
施策			
空き家活用プロジェクト			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
仲介による空き家賃貸利用数		6 件	
実施結果 (DO)			
事業費		-	
実施内容			
平成 29 年度の実施はありませんでした。			
KPI		実績値 (2017 年度)	
仲介による空き家賃貸利用数		-	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
-	-	-	-
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
平成 31 年度実施予定	-	-	-
委員の意見			
34. 空き家バンク登録物件の説明会の開催 との一括審議のため、記載省略。			

基本的方向① 既存ストックを活用した住環境の整備

取組内容 36

貸主と借主との仲介

事業概要 (PLAN)			
施策			
空き家活用プロジェクト			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
仲介による空き家賃貸利用数		6 件	
実施結果 (DO)			
事業費		-	
実施内容			
平成 29 年度の実施はありませんでした。			
KPI		実績値 (2017 年度)	
仲介による空き家賃貸利用数		-	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
-	-	-	-
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
平成 31 年度実施予定	-	-	-
委員の意見			
34. 空き家バンク登録物件の説明会の開催 との一括審議のため、記載省略。			

基本的方向① 既存ストックを活用した住環境の整備

取組内容 37

UR 住宅の活用協議

事業概要 (PLAN)			
施策			
UR 住宅の活用による若者世帯の定住促進			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
UR 住宅における転入者数		125 人	
実施結果 (DO)			
事業費		-	
実施内容			
<p>少子高齢化に伴う入居者の減少が進行している「UR 西大和片岡台」について、地域のニーズに沿った都市構造の再構築にあたり、上牧町の目指す将来像を共有するとともに、地域の実情に対応したまちづくりの方針を反映した事業の実現に向けて、UR 都市再生機構と上牧町による協議の場を設け、連携体制の構築を図りました。</p>			
KPI		実績値 (2017 年度)	
UR 住宅における転入者数		75 人	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果が得られた	A 増加する方向にある	A 必要性が高い	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
<p>○ 活用、入居促進にあたって、大学生をターゲットとして取り組んでいるが、安定して地域に住んでもらうという考えでいえば就労している人をターゲットにするべきではないか？大阪より環境が良い等の地域的な良さをアピールして中小企業へのアピールをしていただきたい。</p> <p>○ UR は、上牧町の団地をメインにした広告は作成しないので、町独自でパンフレットを作成する等しなければ、UR 任せのアピールでは難しいと認識していただきたい。</p> <p>○ UR との協議にあたっては、事前に現状をよく把握している自治会長などと相談しながら推進していただきたい。</p>			

基本的方向① 既存ストックを活用した住環境の整備

取組内容 38

UR 住宅への入居促進

事業概要 (PLAN)			
施策			
UR 住宅の活用による若者世帯の定住促進			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
UR 住宅における転入者数		125 人	
実施結果 (DO)			
事業費		-	
実施内容			
UR 住宅への入居促進については、近隣大学への学生の入居啓発を継続して実施します。また、UR 都市再生機構に対して、入居促進に資する上牧町独自のサービスの開発や近隣自治体と連携して行われている取り組みを上牧町でも実施できないか提案しました。			
KPI		実績値 (2017 年度)	
UR 住宅における転入者数		75 人	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
C 目標とする成果が得られなかった	A 増加する方向にある	A 必要性が高い	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
37.UR 住宅の活用協議 との一括審議のため、記載省略。			

基本的方向① 既存ストックを活用した住環境の整備

取組内容 39

上牧町交通政策検討会の開催

事業概要 (PLAN)			
施策			
公共交通の利便性向上			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
上牧町交通政策検討会の開催		1 回	
実施結果 (DO)			
事業費		-	
実施内容			
交通政策検討会の設置に向けて、平成 29 年度においては、総務課により、検討会の立ち上げに係る基礎調査も兼ねたコミュニティバスの利用に関するアンケート調査を実施しました。(※ 調査のみ実施)			
KPI		実績値 (2017 年度)	
上牧町交通政策検討会の開催		-	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果が得られた	A 増加する方向にある	A 必要性が高い	C 見直す余地がない
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
平成 31 年度実施予定	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
<p>○ 北葛 4 町でまちづくりをしているので、広域交通についても 1 町ではなく周辺の町との共同の関与が必要ではないか？ 上牧町から西和医療センターに行くには、王寺で陸橋を越えて乗り換えしなくてはならない。広域のバリアフリーを考慮して直通バスを 1 本でも 2 本でも実現していただきたい。</p> <p>○ コミュニティバスの運営範囲が町外におよぶと奈良交通やタクシー業界への影響もあるので、交通政策検討会では町外への運営も含むニーズに合わせて検討していただきたい。</p>			

基本的方向① 既存ストックを活用した住環境の整備

取組内容 40

コミュニティバスの利用促進

事業概要 (PLAN)			
施策			
公共交通の利便性向上			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
上牧町交通政策検討会の開催		1 回	
コミュニティバス利用者数		47,000 人 (平成 29 年度 / 独自指標)	
町職員によるワークショップ開催		1 回 (平成 29 年度 / 独自指標)	
実施結果 (DO)			
事業費		9,217 千円	
実施内容			
<p>現在、王寺駅と五位堂駅を結ぶ民間バスが町内を運行しており、町民の移動手段として利用されています。また、高齢者や障がい者などの交通弱者の移動手段として町内の主要施設を巡回するコミュニティバスを運行しており、これまでに乗客ニーズに合わせ、増便や運行時間延長などに取り組んできました。しかしながら、鉄道駅を有さない上牧町においては町民の公共交通に対する課題意識が依然として高いことから、今後も継続的に公共交通の利便性向上に努めるとともに、利用促進に取り組むものです。平成 29 年度においては、下記のとおり町内の主要施設を巡回するコミュニティバスを運行しました。バス 2 台 4 ルート 6 便</p> <p>(取組内容) ・ 転入者の方が窓口に来られた際に、コミュニティバスの時刻表やルート案内図を説明する</p>			
KPI		実績値 (2017 年度)	
上牧町交通政策検討会の開催		-	
コミュニティバス利用者数		48,700 人	
町職員によるワークショップ開催		1 回	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果が得られた	A 増加する方向にある	A 必要性が高い	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
<p>○ 戦略策定時に、駅の無い町として王寺駅、五位堂駅への交通手段を確保するために、奈良交通含めた町外連携の必要があるという意見があったので、既存交通との連携などについて検討、協議していただきたい。</p>			

基本的方向① 既存ストックを活用した住環境の整備

取組内容 41

上牧町魅力発信ツアーの実施

事業概要 (PLAN)			
施策			
コンパクトシティ PR 活動			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
まちあるきツアー開催数		1 件	
実施結果 (DO)			
事業費		-	
実施内容			
平成 29 年度の実施はありませんでした。			
KPI		実績値 (2017 年度)	
まちあるきツアー開催数		-	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
-	-	-	-
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
代替事業の実施を検討	-	-	-
委員の意見			
未実施のため、現在、検討中の代替事業の内容確認のみ。(意見なし)			

基本的方向① 既存ストックを活用した住環境の整備

取組内容 42

イベント等における町の PR の実施

事業概要 (PLAN)			
施策			
コンパクトシティ PR 活動			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
町 HP のアクセス数		150,000 件	
プロモーションツアーの参加者数		50 人 (平成 29 年度 / 独自指標)	
実施結果 (DO)			
事業費		6,792 千円	
実施内容			
<p>上牧町の魅力を PR するイベントとして、毎年町外からもたくさんのかたが訪れる「ペガサスフェスタ」を例年通り開催しました。また、北葛城郡外に居住されているかたを対象とした「北葛城郡地域プロモーションツアー」において、上牧町内の施設や住宅街を巡り、直接魅力に触れていただけるよう、財源の確保に向けて申請を行い、採択され、実施いたしました。その他、コンパクトシティの PR に関する情報発信として、移住に関する特設ページの開設も行いました。</p>			
KPI		実績値 (2017 年度)	
町 HP のアクセス数		141,226 件	
プロモーションツアーの参加者数		50 人	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果が得られた	A 増加する方向にある	B 必要性がある程度認められる	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
<p>○ 成果の見える化を図っていただきたい。</p> <p>○ イベントの PR について、他町イベントは新聞で目にする。ホームページを見られるかただけではない。上牧町は周辺自治体と比べて露出が少ないので新聞媒体も使って広く PR していただきたい。</p>			

基本的方向② 若年層の回帰の促進

取組内容 43

同居・近居相談窓口の設置

事業概要 (PLAN)			
施策			
同居・近居支援			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
Uターン相談件数		5 件	
実施結果 (DO)			
事業費		-	
実施内容			
同居・近居の支援として、不動産会社との連携体制の構築を目指し、協議しましたが、実現には至りませんでした。			
KPI		実績値 (2017 年度)	
Uターン相談件数		-	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
C 目標とする成果が得られなかった	A 増加する方向にある	A 必要性が高い	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
平成 30 年度実施予定	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
○ 奈良県では先駆的事例も出始めているので、参考にして進めていただきたい。			

基本的方向② 若年層の回帰の促進

取組内容 44

大規模同窓会等の支援

事業概要 (PLAN)			
施策			
帰っただいでプロジェクト			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
地域イベントの開催数		1 回	
実施結果 (DO)			
事業費		-	
実施内容			
平成 29 年度の実施はありませんでした。			
KPI		実績値 (2017 年度)	
地域イベントの開催数		-	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
-	-	-	-
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
平成 31 年度実施予定	-	-	-
委員の意見			
<p>○ 地域のお祭り、成人式等のイベントと関連して実施するのであれば、支援の仕組、時期のニーズを含めて検討していただきたい。</p> <p>○ 世界で活躍している上中出身のバレーボール選手や二中出身のオペラ歌手のような人材をペガサスホール等に招いて同窓会のような場を設けてはどうか。</p>			

基本的方向② 若年層の回帰の促進

取組内容 45

地域イベントへの招待

事業概要 (PLAN)			
施策			
帰っておいでプロジェクト			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
地域イベントの開催数		1 回	
実施結果 (DO)			
事業費		-	
実施内容			
平成 29 年度において、町出身者をイベントに招待し、ペガサスフェスタにおいて、ステージの出演、ブースの出展をしていただくことを想定していましたが、町出身者を招待できなかったため、「町民」として、これまで町の取り組みに携わっていただいている奈良県立大学の学生に声をかけ、ペガサスフェスタにおいて、ステージの出演、ブースの出展をしていただきました。			
KPI		実績値 (2017 年度)	
地域イベントの開催数		-	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
C 目標とする成果が得られなかった	A 増加する方向にある	B 必要性がある程度認められる	A 見直す余地がありすぐに実施
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
○ U ターンにつながるようなイベントに期待している。			

基本目標③

広域連携・地域連携による地域力の向上
を推進する

基本的方向① 地域資源を活用した広域連携による魅力創出

取組内容 46

公共施設の相互利用

事業概要 (PLAN)			
施策			
北葛 4 町における公共施設の相互利用			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
町内の広域利用可能施設数		3 施設	
実施結果 (DO)			
事業費		-	
実施内容			
平成 29 年度の実施はありませんでした。			
KPI		実績値 (2017 年度)	
町内の広域利用可能施設数		1 施設	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
-	-	-	-
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
実施の目途が立っていない	-	-	-
委員の意見			
<p>○ 上牧町には鉄道駅がないので近隣自治体の駅駐輪場の相互利用はできないか。地域プロモーションは 4 町が協働で実施しているので、公共施設の相互利用も含めて協議していただきたい。</p> <p>○ 平成 31 年度までに新規導入が難しいようであれば、なにか代替事業を行っていただきたい。</p>			

基本的方向① 地域資源を活用した広域連携による魅力創出

取組内容 47

相互利用施設の情報発信

事業概要 (PLAN)			
施策			
北葛 4 町における公共施設の相互利用			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
町内の広域利用可能施設数		3 施設	
実施結果 (DO)			
事業費		-	
実施内容			
平成 29 年度の実施はありませんでした。			
KPI		実績値 (2017 年度)	
町内の広域利用可能施設数		1 施設	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
-	-	-	-
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
実施の目途が立っていない	-	-	-
委員の意見			
46.公共施設の相互利用 との一括審議のため、記載省略。			

基本的方向① 地域資源を活用した広域連携による魅力創出

取組内容 48

広域連携による観光プログラムの企画・周知・運営

事業概要 (PLAN)			
施策			
地域資源をつないだネットワークの形成			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
パンフレット発行冊数		30,000 冊	
プロモーションツアーの参加人数		50 人 (平成 29 年度 / 独自指標)	
実施結果 (DO)			
事業費		-	
実施内容			
<p>広域連携により観光プログラムとして、北葛城郡 4 町共同実施による北葛城郡地域プロモーションツアーを予実施しました。</p> <p>(A コース) 天王寺駅→王寺町 (雪丸さんぽ in 達磨寺 モデルハウス見学) →広陵町 (カフェ昼食 くつ下工場見学 かつらぎの道散策) → (上牧町・河合町車中見学) →王寺駅</p> <p>(B コース) 王寺駅→河合町 (UR 西大和星和台見学 スイーツ創作体験) →上牧町 (温泉入湯体験 & ご当地新メニュー試食 ひかりタウン見学) → (王寺町・広陵町車中見学) →王寺駅</p> <p>※事業費は「42.イベント等における町の PR の実施」において計上しています。</p>			
KPI		実績値 (2017 年度)	
パンフレット発行冊数		48,000 冊	
プロモーションツアーの参加人数		50 人	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果が得られた	A 増加する方向にある	B 必要性がある程度認められる	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
○ 河合町・王寺町・広陵町が連携して実施したサイクリングツアーにも参加できないか検討していただきたい。			

基本的方向① 地域資源を活用した広域連携による魅力創出

取組内容 49

久渡古墳群の文化財の保存及び整備の推進

事業概要 (PLAN)			
施策			
地域資源をつないだネットワークの形成			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
パンフレット発行冊数		30,000 冊	
国民文化祭なら 2017 における文化財特別講演会と展示企画		1 回 (平成 29 年度 / 独自指標)	
実施結果 (DO)			
事業費		13,688 千円	
実施内容			
<p>上牧久渡古墳群においては、平成 24 年度から 26 年度にかけて国庫補助事業による上牧久渡 1～6 号墳及び上牧久渡遺跡の範囲確認調査を実施しました。平成 27 年 5 月の文化審議会文化財分科会第 3 専門部会において、上牧久渡古墳群の国史跡指定の審議が行われ、平成 27 年 10 月 7 日に国史跡に指定されました。</p> <p>平成 29 年度は、平成 28 年度に引き続き、追加、補足のための発掘調査を実施し、保存と管理に向けて整備を進めるとともに、上牧久渡古墳群普及啓発のため、奈良県文化資源活用補助金を利用し、画文帯環状乳神獣鏡複製品 (レプリカ) 製作事業を行いました。</p>			
KPI		実績値 (2017 年度)	
パンフレット発行冊数		48,000 冊	
国民文化祭なら 2017 における文化財特別講演会と展示企画		1 回	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
A 目標よりも大きな成果が得られた	A 増加する方向にある	A 必要性が高い	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
○ 今後も引き続き、普及啓発に努めていただきたい。			

基本的方向① 地域資源を活用した広域連携による魅力創出

取組内容 50

滝川整備事業

事業概要 (PLAN)			
施策			
地域資源をつないだネットワークの形成			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
指標なし		-	
実施結果 (DO)			
事業費		-	
実施内容			
<p>本町には上牧久渡古墳群や片岡城跡等の歴史文化遺産や秩父池周辺等の豊かな自然環境が点在しており、水辺空間を利用した滝川周辺を整備することにより、これらの地域資源をつないだルートを「かんまき笹ゆり回廊」と位置付け、歴史文化や自然環境を保全するとともに、上牧らしい新たな地域資源の形成を図るとともに、滝川の水辺周辺地区を活用し、幅広い世代が交流できる場を創出することで、地域コミュニティの活性化を図り、地域で支え合い暮らしていけるまちづくりを目指すため、以下の事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 豊かな地域コミュニティの活性化に向けた、世代を超えた町民間が交流できる場の創出 (滝川周辺の遊歩道、広場などの憩いの場の整備) ・ 高齢者の健康づくりや生きがいづくりの促進に向けた仕組みづくり (滝川を安全・安心に楽しく歩ける空間整備) ・ 滝川周辺の景観向上を図るとともに、自然豊かな水辺空間の活用 (親水空間の整備、滝川周辺の全体的景観の改善) 			
KPI		実績値 (2017 年度)	
指標なし		-	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果が得られた	A 増加する方向にある	A 必要性が高い	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	拡大	拡大
委員の意見			
○ 今後も引き続き、県と連携を図り、効率的に滝川整備事業を推進していただきたい。			

基本的方向② 広域連携による地域力の向上

取組内容 51

近隣自治体との空き家バンクの共同運営

事業概要 (PLAN)			
施策			
空き家バンク共同利用			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
空き家バンク登録件数		50 件	
実施結果 (DO)			
事業費		-	
実施内容			
平成 29 年度の実施はありませんでした。			
KPI		実績値 (2017 年度)	
空き家バンク登録件数		-	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
-	-	-	-
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
実施の目途が立っていない	-	-	-
委員の意見			
<p>○ 空き家の流通、利活用は地域にとって重要である。通常の不動産市場で流通する物件に行政が介入することは民間と行政の住み分けの問題があるが、通常流通しにくい物件の流通促進をすることに公益性があるかどうかで行政は介入を決めるべき。市場で流通しにくい物件を流通させることは非常に難しいので知恵をしばっていただきたい。</p>			

基本的方向③ 地域活動・NPO 活動の促進及び地域住民の活躍の場の創出

取組内容 52

町内の優れた技術・能力を有する人材発掘

事業概要 (PLAN)			
施策			
人材バンクの拡充			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
人材バンク登録者数		20 人	
実施結果 (DO)			
事業費		5,122 千円	
実施内容			
<p>①人材の掘り起こし、活躍ならびに能力向上のために“多世代交流を核とした生涯活躍のまち構想”において、起業・創業支援をテーマとしたセミナー & ワークショップを実施しました。</p> <p>②大学連携等による生涯学習講座を実施しました。</p> <p>③元気な高齢者を増やすため、アクティブシニアの移住促進コンシェルジュを設置しました。</p> <p>④教職 OB や大学生などの技術・能力者を活用する上牧町まきっ子塾を昨年から引き続き実施しました。</p>			
KPI		実績値 (2017 年度)	
人材バンク登録者数		20 人	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果が得られた	A 増加する方向にある	B 必要性がある程度認められる	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
<p>○ 人材バンクの登録者数を増やし、活用することにより、地域の活性化につなげる事業展開にしていきたい。</p>			

基本的方向③ 地域活動・NPO 活動の促進及び地域住民の活躍の場の創出

取組内容 53

人材バンクの情報発信

事業概要 (PLAN)			
施策			
人材バンクの拡充			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
人材バンク登録者数		20 人	
実施結果 (DO)			
事業費		-	
実施内容			
<p>上牧町まちづくり人材バンク制度について広報かんまき 6 月号において周知を行いました。また、“多世代交流を核とした生涯活躍のまち構想”においては歴史・英語・健康に関する講座を開催し、その際に人材バンクの情報を発信しました。</p>			
KPI		実績値 (2017 年度)	
人材バンク登録者数		20 人	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果が得られた	A 増加する方向にある	B 必要性がある程度認められる	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
<p>52. 町内の優れた技術・能力を有する人材発掘 との一括審議のため、記載省略。</p>			

基本的方向③ 地域活動・NPO 活動の促進及び地域住民の活躍の場の創出

取組内容 54

地域活動支援

事業概要 (PLAN)			
施策			
地域活動・NPO 活動への参加機会の創出			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
新規地域活動団体設立数		2 団体	
実施結果 (DO)			
事業費		3,565 千円	
実施内容			
<p>奈良県自治連合会において、先進的にまちづくり協議会を実施されている長野県飯田市を視察しました。また、自治会振興会費を交付し、地域活動の振興を行いました。</p>			
KPI		実績値 (2017 年度)	
新規地域活動団体設立数		1 団体	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果が得られた	A 増加する方向にある	B 必要性がある程度認められる	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
<p>58.自治会設立支援 との一括審議のため、記載省略。</p>			

基本的方向③ 地域活動・NPO 活動の促進及び地域住民の活躍の場の創出

取組内容 55

地域活動の情報発信

事業概要 (PLAN)			
施策			
地域活動・NPO 活動への参加機会の創出			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
新規地域活動団体設立数		2 団体	
実施結果 (DO)			
事業費		-	
実施内容			
① 広報かんまきにおいて、町民向けに地域活動の紹介を行いました。			
② 2000 年会館においては、正面ホールにて地域活動の紹介を行いました。			
③ 中央公民館、ペガサスホール、中央図書館に設置されている掲示板にて地域活動の紹介を行いました。			
KPI		実績値 (2017 年度)	
新規地域活動団体設立数		1 団体	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果が得られた	B 現状と変わらない	B 必要性がある程度認められる	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
58.自治会設立支援 との一括審議のため、記載省略。			

基本的方向③ 地域活動・NPO 活動の促進及び地域住民の活躍の場の創出

取組内容 56

新規 NPO の立ち上げ支援

事業概要 (PLAN)			
施策			
地域活動・NPO 活動への参加機会の創出			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
新規地域活動団体設立数		2 団体	
実施結果 (DO)			
事業費		-	
実施内容			
<p>相談等による NPO の立ち上げ支援を行うことで、新規の地域活動団体の設立を目指しており、平成 29 年度においては、上牧町協働のまちづくり公募型補助金の自立事業化前提型補助金の申請受付の際に、将来的な団体設立を想定されているという相談もありましたが、事業計画自体がストップしたため、設立には至っておりません。</p>			
KPI		実績値 (2017 年度)	
新規地域活動団体設立数		1 団体	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
C 目標とする成果は得られなかった	B 現状と変わらない	B 必要性がある程度認められる	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">58.自治会設立支援</div> との一括審議のため、記載省略。			

基本的方向③ 地域活動・NPO 活動の促進及び地域住民の活躍の場の創出

取組内容 57

ボランティアの育成・団体立ち上げ支援

事業概要 (PLAN)			
施策			
地域活動・NPO 活動への参加機会の創出			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
新規地域活動団体設立数		2 団体	
実施結果 (DO)			
事業費		-	
実施内容			
上牧久渡古墳群の将来的な観光資源化を目指すにあたり、上牧町の歴史や上牧久渡古墳群の魅力を伝える「地域の担い手づくりの一環として「上牧町歴史ガイド養成講座」を実施しました。			
KPI		実績値 (2017 年度)	
新規地域活動団体設立数		1 団体	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果が得られた	A 増加する方向にある	B 必要性がある程度認められる	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
58.自治会設立支援 との一括審議のため、記載省略。			

基本的方向③ 地域活動・NPO 活動の促進及び地域住民の活躍の場の創出

取組内容 58

自治会設立支援

事業概要 (PLAN)			
施策			
地域活動・NPO 活動への参加機会の創出			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
新規地域活動団体設立数		2 団体	
実施結果 (DO)			
事業費		-	
実施内容			
<p>現在、2ヶ所ある自治会空白地をはじめ、新規自治会の設立を希望する地域へ、自治会の設立の手引きや自治会会則例等を提示して支援を行う予定でしたが、平成 29 年度は相談がなかったため、支援できませんでした。</p>			
KPI		実績値 (2017 年度)	
新規地域活動団体設立数		1 団体	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
C 目標とする成果は得られなかった	B 現状と変わらない	B 必要性がある程度認められる	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
<p>○ 特に災害時には高齢者が迅速な避難ができず、地域で助け合うことがある。基本は地域の自治会、町内会など地域の組織がベースとなる。現状は相談に対応するというスタンスだが、将来的には地域のコミュニティを向上させるという観点から、相談が無くても町から様々なかたちで提案や働きかけを行うことを検討していただきたい。</p> <p>○ 防犯、避難、美観、環境保全、衛生の観点からみても、自治会の果たすべき役割は大きいので、空白地を解消できるよう支援を実施していただきたい。</p>			

基本的方向③ 地域活動・NPO 活動の促進及び地域住民の活躍の場の創出

取組内容 59

防災訓練の定期的な実施支援

事業概要 (PLAN)			
施策			
防災活動支援・促進			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
防災訓練参加団体数		30 団体	
防災訓練参加人数		500 人 (平成 29 年度 / 独自指標)	
実施結果 (DO)			
事業費		83 千円	
実施内容			
<p>上牧町総合防災訓練(会場：上牧第三小学校)を実施しました。</p> <p>この訓練は、災害対策基本法及び上牧町地域防災計画に基づき、大規模地震の発生を想定して上牧町の防災組織を動員するとともに、各防災関係機関及び町民の参加協力のもとに防災訓練を実施することにより、災害応急対策活動の円滑化及び迅速かつ効果的な協力体制の確立を図り、町民の防災意識の高揚と防災体制の万全を期することを目的とするものです。</p>			
KPI		実績値 (2017 年度)	
防災訓練参加団体数		36 団体	
防災訓練参加人数		560 人	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果は得られた	A 増加する方向にある	A 必要性が高い	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
<p>○ 大規模地震を対象災害と考えられているが、最近は大規模地震による風水害も出ているので、その部分も検討していただきたい。</p>			

基本的方向③ 地域活動・NPO 活動の促進及び地域住民の活躍の場の創出

取組内容 60

近隣自治体との合同防災訓練の実施

事業概要 (PLAN)			
施策			
防災活動支援・促進			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
指標なし		-	
実施結果 (DO)			
事業費		-	
実施内容			
平成 29 年度の実施はありませんでした。			
KPI		実績値 (2017 年度)	
指標なし		-	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
-	-	-	-
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
実施の目途が立っていない	-	-	-
委員の意見			
未実施のため、現状確認のみ。(意見なし)			

基本的方向③ 地域活動・NPO 活動の促進及び地域住民の活躍の場の創出

取組内容 61 子供向け防災教室の拡充

事業概要 (PLAN)			
施策			
防災活動支援・促進			
KPI		目標値 (2017 年度終了時点)	
ペガサスフェスタ防災体験コーナー参加者数		100 人 (独自指標)	
実施結果 (DO)			
事業費		-	
実施内容			
<p>教育委員会を通して、町内小中学校で奈良県シェイクアウト訓練参加の周知促進を実施しました。</p> <p>また西和消防署の協力のもと、ペガサスフェスタにて子ども用防災体験コーナーを開催しました。</p> <p>※ 平成 28 年度実績：ロープ結索及び渡過体験、けむり体験</p>			
KPI		実績値 (2017 年度)	
ペガサスフェスタ防災体験コーナー参加者数		121 人	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果は得られた	A 増加する方向にある	A 必要性が高い	B 見直す余地があるが時間が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
<p>○ 子供向け防災教室の実施にあたっては、地域の自主防災組織と協力するとともに、自治会や教育委員会間の協議を行うことなどについても検討して進めていただきたい。</p>			

基本的方向③ 地域活動・NPO 活動の促進及び地域住民の活躍の場の創出

取組内容 62

上牧町協働のまちづくり公募型補助金

事業概要 (PLAN)			
施策			
公募型補助金の活用促進			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
申請団体数		5 団体	
実施結果 (DO)			
事業費		342 千円	
実施内容			
<p>事業補助を希望する団体の公募を行い、補助金を支給することにより、町の活性化に資する公益的活動を行う団体の育成を図り、住民参画の観点を重視した町民と行政との協働のまちづくりを推進するため事業補助を実施しました。</p>			
KPI		実績値 (2017 年度)	
申請団体数		6 団体	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
B 概ね目標の成果は得られ た	A 増加する方向にある	A 必要性が高い	B 見直す余地があるが時間 が必要
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
継続	現状のまま継続	現状のまま継続	現状のまま継続
委員の意見			
<p>○ 1 年目は準備が不十分な中で申請する人が多いので、申請意思はあるが不採択となったときには自治体側が手厚く指導していただきたい。</p>			

基本目標④

上牧町で働き続けられる環境をつくる

基本的方向① 地域資源を活用した雇用支援

取組内容 63

空き家への事業者入居及び町民雇用の促進

事業概要 (PLAN)			
施策			
空き家を活用した雇用創出			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
空き家への事業者入居数		2 事業者	
実施結果 (DO)			
事業費		-	
実施内容			
平成 29 年度の実施はありませんでした。(空き家バンクの設立に向けた関係各課との協議のみ)			
KPI		実績値 (2017 年度)	
空き家への事業者入居数		-	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
-	-	-	-
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
平成 31 年度実施予定	-	-	-
委員の意見			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">51.近隣自治体との空き家バンクの共同運営</div> との一括審議のため、記載省略。			

基本的方向① 地域資源を活用した雇用支援

取組内容 64

町内事業所勤務者の入居促進

事業概要 (PLAN)			
施策			
空き家を活用した雇用創出			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
空き家への事業者入居数		2 事業者	
実施結果 (DO)			
事業費		-	
実施内容			
平成 29 年度の実施はありませんでした。			
KPI		実績値 (2017 年度)	
空き家への事業者入居数		-	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
-	-	-	-
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
平成 31 年度実施予定	-	-	-
委員の意見			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">51.近隣自治体との空き家バンクの共同運営</div> との一括審議のため、記載省略。			

基本的方向① 地域資源を活用した雇用支援

取組内容 65

就職情報発信

事業概要 (PLAN)			
施策			
就職情報発信及び就職支援			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
就職準備セミナーの年間開催数		1 回	
実施結果 (DO)			
事業費		-	
実施内容			
平成 29 年度の実施はありませんでした。			
KPI		実績値 (2017 年度)	
空き家への事業者入居数		-	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
-	-	-	-
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
平成 31 年度実施予定	-	-	-
委員の意見			
○ 計画のとおり、就職情報発信及び就職支援を実現していただきたい。			

基本的方向① 地域資源を活用した雇用支援

取組内容 66

就職準備セミナーの開催

事業概要 (PLAN)			
施策			
就職情報発信及び就職支援			
KPI		目標値 (2020 年度時点)	
就職準備セミナーの年間開催数		1 回	
実施結果 (DO)			
事業費		-	
実施内容			
平成 29 年度の実施はありませんでした。			
KPI		実績値 (2017 年度)	
空き家への事業者入居数		-	
事業の分析 (CHECK)			
達成度	ニーズの方向性	町関与の必要性	事業見直しの余地
-	-	-	-
今後の方向性 (ACTION)			
事業実施等の見通し	取組 (事業) の方向性	事業費	労働量
平成 31 年度実施予定	-	-	-
委員の意見			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">65.就職情報発信</div> との一括審議のため、記載省略。			

参考資料

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会 委員名簿

	名前	所属等
1	ナカヤマ トオル 中山 徹	(学)奈良女子大学
2	ツルヤ マサヒコ 鶴谷 将彦	(学)奈良県立大学
3	タケシマ マサaki 竹島 正貴	一般公募住民
4	ツジ セイイチ 辻 誠一	上牧町議会議長
5	マキウラ ヒデシ 牧浦 秀俊	上牧町議会議員
6	ヨシダ ヨシオ 吉田 義男	上牧町自治連合会 会長
7	シロガネ トシコ 白銀 敏子	上牧町民生児童委員連合会 会長
8	ミヤギ ミツ 宮城 美和	教育委員
9	カヅノ ヨコ 梶野 洋子	上牧町婦人会 会長
10	イワキ リュウキ 岩城 功幸	(金融)南都銀行 上牧支店長
11	ヨコオ ツヨシ 横尾 剛	(産)アピタ西大和店 店長
12	モリ タツヤ 森 龍哉	(労)ハローワーク大和高田 所長
13	ヤブウチ キミヒロ 藪内 公大	(言)エフエム西大和株式会社 取締役
14	ニシヤマ シンノブ 西山 義憲	(官)上牧町副町長

上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会設置条例

(設置)

第1条 この条例は、まち・ひと・しごと創生法(平成26年法律第136号)第10条第1項の規定に基づき策定した上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「総合戦略」という。)に基づき実施した事業の効果を検証するため、上牧町まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項に対し、意見を述べる。

- (1) 総合戦略に基づき実施した事業の効果検証に関すること。
- (2) 総合戦略の施策の進捗状況の検証及び追加・変更等に係る提案に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、委員14名以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから町長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 一般公募住民
- (3) 町議会議員
- (4) 町内各種団体の代表
- (5) その他町長が必要と認める者

(任期)

第4条 委員の任期は2年以内とし、委員に欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、再任は妨げない。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

4 委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、説明又は意見を聴くことができる。

(報酬及び費用弁償)

第7条 委員(第3条第2項第3号に掲げる者を除く。以下この条において同じ。)に報酬を

支給することができる。

2 委員が職務のため町外に旅行するときは、費用弁償として旅費を支給する。

3 報酬及び費用弁償の額並びに支給方法については、上牧町の特別職の職員で非常勤のもの
の報酬及び費用弁償に関する条例(昭和39年3月条例第2号)の定めるところによる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、総務部政策調整課において処理する。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会
に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(招集の特例)

2 この条例の施行の日以後最初に招集される委員会の会議は、第6条第1項の規定にかか
わらず町長が招集する。

